

# PFSP-TOP30

# テーパーワン(オートPP) 取扱説明書

このたびは、ジェフコム製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。

## 安全上のご注意

### 警告

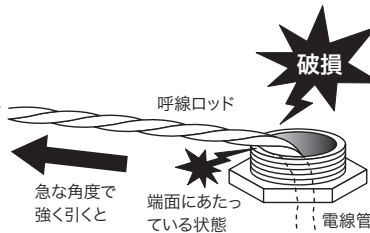
- 通電中のケーブルがある配管での使用や、活線近くでの作業はしないでください。感電の恐れがあります。
- 高所で使用の際は、足元を安定させようとしてご使用ください。転落や器具の落下などの事故につながる恐れがあります。
- 手、髪の毛、衣類の裾などを回転部に近づけないでください。巻き込まれてけがをする恐れがあります。

### 注意

- 指定の用途以外では使用しないでください。
- 改造や分解はしないでください。破損やけがの原因になります。
- 本製品は配線前の配管や、配線の隙間が十分にある配管で使用してください。配線が密集した管内での使用は、詰まりや破損の原因になります。
- 電動ドライバーを使用の際は、各メーカーの取扱説明書をよくお読みの上、注意事項に従って正しくご使用ください。
- 電動ドライバーが高温になったときは、使用を中止してください。破損の恐れがあります。
- 電動ドライバーは、低速・低トルクの設定でご使用ください。
- キーレスチャックの電動ドライバーは、使用しないでください。締め付け力が足りず、破損の恐れがあります。
- 使用前に各部ネジが緩んでいないか確認し、緩んでいる場合はしっかり締め付けてください。けがや破損の恐れがあります。
- 作業時は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。回転部に巻き込まれてけがをする恐れがあります。
- 子どもが触れないようにしてください。けがの原因になります。
- 連続して長時間使用すると、熱により樹脂部分が変形・溶解する恐れがあります。放熱のための時間をはさんでご使用ください。
- 呼線が引っかかって進まないときや、抵抗が大きく強い力が必要になる場合は、無理に押し込んだり引っ張ったりせず、電動ドライバーを外してから、ロッドを手で持って押し引きする作業に切り替えてください。破損の恐れがあります。
- 使用方法や使用期間により以下のような異常が認められた場合、使用をやめてください。けがや破損の恐れがあります。

- ・ロッドに傷や変形がある
- ・ロッドに熱や摩擦熱による融着がある
- ・ロッドに押しつぶれがみられる
- ・ロッドに薬品による汚染がみられる
- ・ロッドの金具類に緩みやがたつきがある

- 呼線の索引時、ロッドが電線管の端面にあたった状態で折れ曲がるような角度で強く引くと、負荷がかかりすぎてロッドが破損する恐れがあります。(右図参照)



- ロッドを折り曲げたり、衝撃を与えたり、傷つけたり、加熱したりすると破損する恐れがあります。
- 全体破断荷重内で使用してください。過度の荷重をかけると金具などが抜けてパイプ内に残る場合があります。
- ペンチなどの工具を使用して引っ張らないでください。ロッドに傷がついたり、けがや破損の原因になります。
- 車内や直射日光が当たる場所など、高温下での保管はしないでください。やむをえず屋外保管する場合は、シートなどをかけて直射日光が当たらないようにしてください。曲がりくせなどの変形や、損傷の原因になります。
- 本製品は呼線を巻き取る際、管内のごみやほこりを取り込みやすく、故障や破損の原因になります。使用後は必ず異物を取り除き、巻き取り部に絡まりやゆるみがないことを確認してください。エアダスターでほこりを吹き飛ばすなどの処理が効果的です。

## 使用上のお願い

- 本製品は通線作業を補助するためのものです。あらゆる配線作業を自動化・簡略化するためのものではありません。
- 先端金具は着脱できません。
- 製品を廃棄する際は、各自自治体の法令に従ってください。
- 本製品は修理不可です。

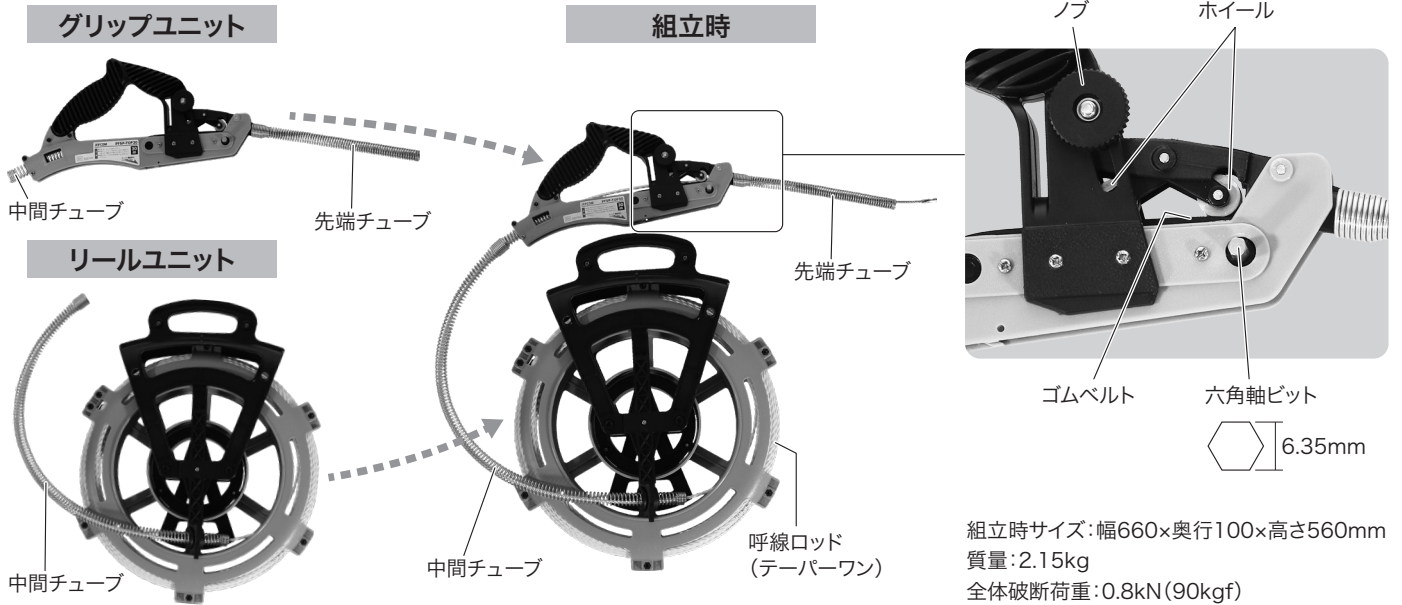
## 特長

- 電動ドライバーを動力にして、呼線の繰り出し、引き込みが素早く行なえる。
- 本体はグリップユニットとリールユニットの二つに分離可能。状況に合わせて使い分けられる。

## 用途

- 呼線の繰り出し、引き込みをサポート

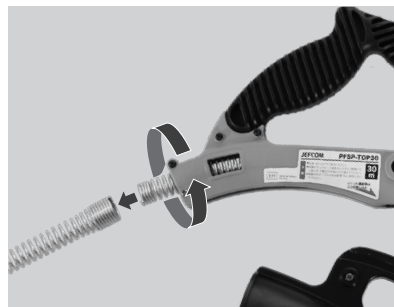
# 各部名称・仕様



## 組み立て・セット方法

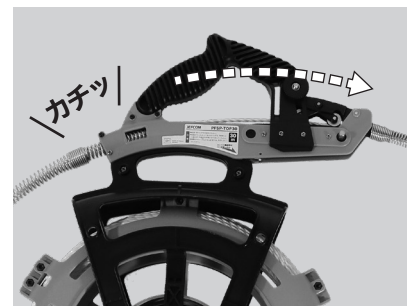
### 1 グリップユニットとリールユニットの中間チューブを接続する

グリップユニットを回しながら、グリップユニットの中間チューブをリールユニットの中間チューブに入れていきます。



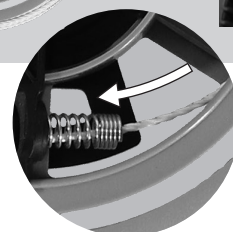
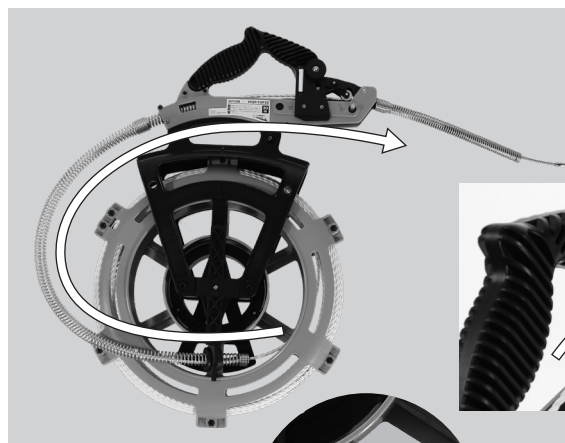
### 2 グリップユニットをリールユニットに連結する

右図の○部分を合わせて溝にはめこみ、「カチッ」と音がするところまでスライドさせます。



### 3 呼線をリールユニットの中間チューブに通して、グリップユニットに送る

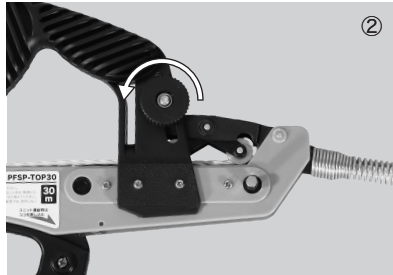
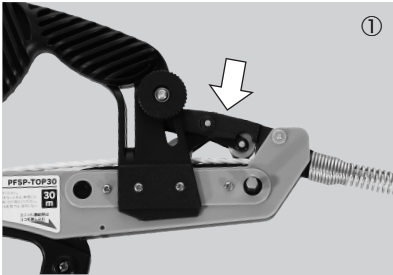
呼線の先端を、リールユニット下部の中間チューブから入れてグリップユニットに送り、ゴムベルトとホイールの間を通します。先端金具が完全に外に出るまで、引き出してください。



## 組み立て・セット方法

### 4 呼線を固定する

- ①ホイールを押し下げて、呼線を下のゴムベルトに押し付けます。
- ②ノブをいったん左に回してゆるめます。
- ③ノブについている軸金具を押し下げ、ノブを右に回して締め付けます。  
呼線が、ホイールとゴムベルトの間に挟まれて、固定された状態にしてください。



## 使用方法

### 呼線の繰り出し、引き込み

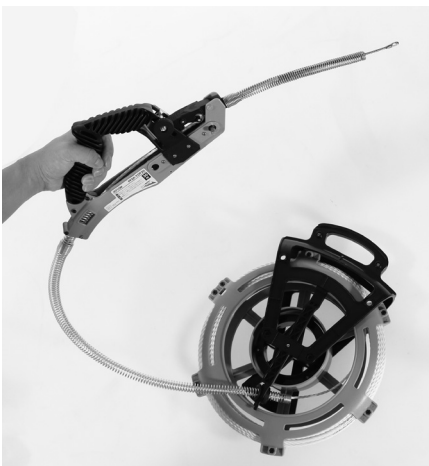
グリップユニットの六角軸ビットに電動ドライバーを取り付けます。電動ドライバーで六角軸ビットを回転させて、呼線の繰り出し、引き込みを行います。



- インパクトドライバーを使用すると、呼線の押し引き操作が重くなった際に打撃動作が発生し、製品やケーブルに過剰な負荷がかかる恐れがあります。抵抗が大きくなった場合は無理な操作をせず、ロッドを手で持って押し引きする作業に切り替えてください。
  - 電動ドライバーは下記の範囲内で使用してください。
    - ・トルク(目安): 20~50N・m
    - ・インパクトドライバー: 低速(弱)モード
  - 下記の機器は使用しないでください。負荷により、呼線や索引するケーブルが破損する恐れがあります。
    - ・インパクトドライバー: 標準モード以上
    - ・電動ドリル(クラッチ機能がないもの)
    - ・電動インパクトドリル(目安のトルクを超えるもの)
  - キーレスチャックの電動ドライバーは、使用しないでください。締め付け力が足りず、破損の恐れがあります。
- ※電動ドライバーが高温になったときは、使用を中止してください。破損の恐れがあります。

### ユニットの取り外し

グリップユニットはリールユニットから取り外して、離れた位置で使用することができます。



### 呼線の終端がリールユニットから外れたときは…

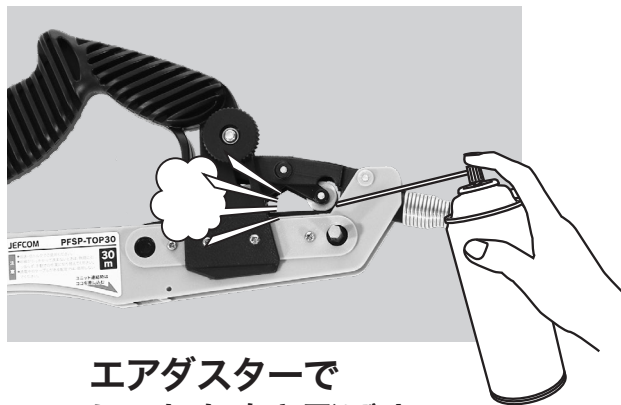
リールユニットの呼線ガイドに呼線の終端側を通してから、あらためて呼線の引き込みをしてください。



呼線を最後まで勢よく繰り出すと、呼線ガイド部が破損する恐れがあります。呼線は最後まで出し切らず、2~3m残すようにしてください。

## お手入れのすすめ

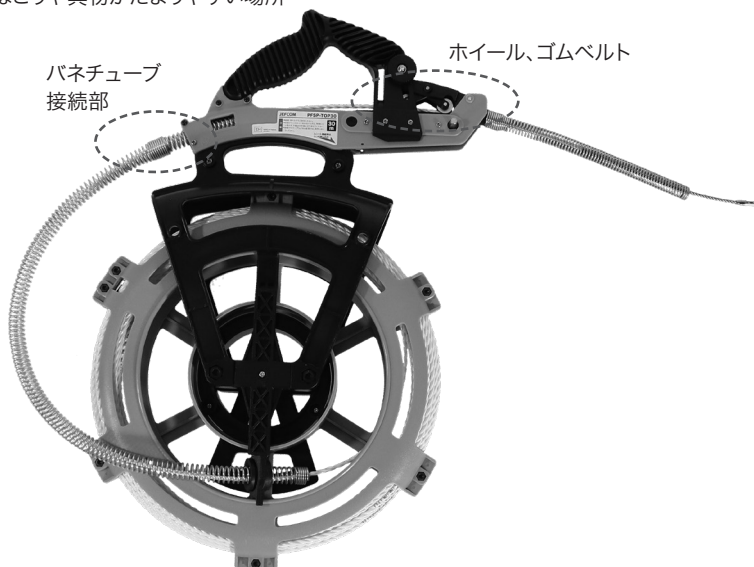
本製品は呼線を巻き取る際、管内のごみやほこりを取り込みやすく、故障や破損の原因になります。使用後は必ず異物を取り除き、巻取り部に絡まりやゆるみがないことを確認してください。エアダスターでほこりを吹き飛ばすなどの処理が効果的です。



エアダスターで  
ほこりを吹き飛ばす！

⚠ 注意 潤滑、防錆スプレーは使用しないでください。

ほこりや異物がたまりやすい場所



※実際の商品と、取扱説明書に記載されている写真は、色が異なる場合があります。